

第2回「国際船舶安全性環境研究イニシアティブ」シンポジウム

日時：2013年2月26日（火）13:30-17:00

場所：航空会館（東京都港区新橋1丁目18番1号）

主催：大阪大学大学院工学研究科

共催：国土交通省

趣旨：大阪大学大学院工学研究科に2006年度より設置された、専攻横断の研究拠点である「国際船舶安全性環境研究イニシアティブ」は、同じ年度より始まった国土交通省海事局（国海査第379号）と連携する「国際海事政策重点プログラム」（大学院教育）の研究面でのカウンターパートとなり、船舶の安全環境政策に貢献するため、船舶工学に止まらない多分野に亘る共同研究の推進に努めてまいりました。今回はその歩みを振り返ってさらなる進展を図るため、関係機関との意見交換と成果の紹介を行うシンポジウムを企画しましたのでご出席くださいますようお願い申し上げます。

- 13:30-13:40 開会挨拶 神戸宣明（大阪大学教育研究評議員；教授）
- 13:40-14:00 国際船舶安全性環境研究イニシアティブの足跡
梅田直哉（大阪大学准教授；イニシアティブ代表者）
- 14:00-14:20 国土交通省海事局と大阪大学の連携の歩みと将来展望
平原祐（国土交通省海事局安全基準課長）
- 14:20-14:30 海上技術安全研究所と大阪大学の連携の歩みと将来展望
瀬部充一（独海上技術安全研究所企画部長）
- 14:30-14:40 水産総合研究センターと大阪大学の連携の歩みと将来展望
宮野鼻洋一（独水産総合研究センター水産工学研究所
漁業生産工学部長）
- 14:40-15:00 休憩
- 15:00-15:30 研究成果：温室効果ガス排出削減のための船舶のハイブリッド推進システム
（三井造船船舶ハイブリッド推進システム共同研究講座報告）
関口秀紀（大阪大学特任准教授）・大曲裕子（大阪大学特任研究員）
- 15:30-16:00 研究成果：船舶構造強度（IMO 目標志向型基準を中心に）
藤久保昌彦（大阪大学教授）
- 16:00-16:30 研究成果：船舶復原性（IMO 新世代非損傷時復原性基準を中心に）
梅田直哉（大阪大学准教授）
- 16:30-16:55 総合討論
- 16:55-17:00 閉会挨拶 平原祐（国土交通省海事局安全基準課長）

使用言語：日本語

参加費：無料

参加申し込み方法：なるべく以下へ電子メールで2月22日までにご連絡ください。

大阪大学 上田恵美 <ueda@naoe.eng.osaka-u.ac.jp>

内容についての問い合わせ先：大阪大学 橋本博公 <h_hashi@naoe.eng.osaka-u.ac.jp>